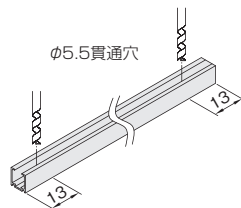


施工ガイド

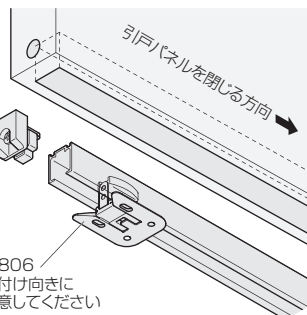
■金具の取付け

1. 下部レールの取付け

- ①レール芯の所定位置に
φ5.5の貫通穴をあけます。
(2ヶ所)



- ②SW-806を右図の方向でレールに挿入し、両端にSW-807を差込みます。

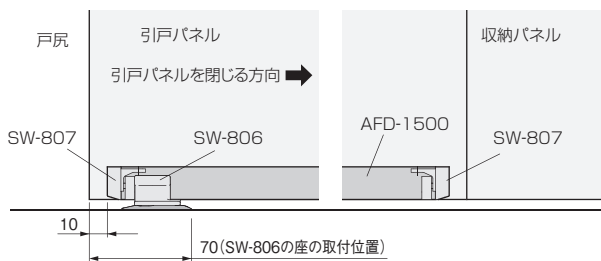


- ③レールを引戸パネルの下部加工溝に取付けます。



2. 下部ガイドの取付け

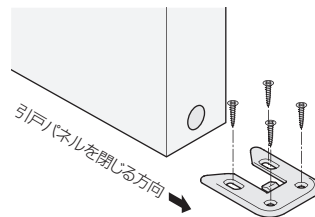
- ①収納パネルと引戸パネルで間仕切った状態にし、下部レール内のSW-806を戸尻端部まで移動させます。
②下図を参考に、引戸パネルの戸尻から70mmの位置に、SW-806の座を取付けられるように、取付け位置を確認します。



- ③引戸パネルを開けた状態にして、SW-806の座をガイドから外し、添付ねじで床に取付けます。

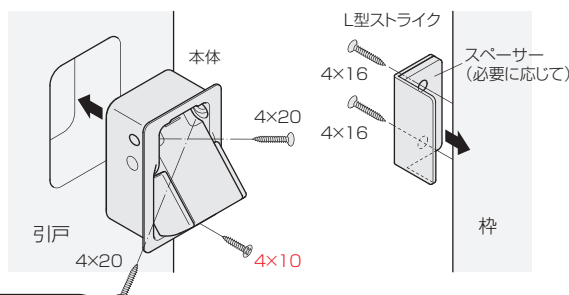
ご注意

取付ねじをインパクトドライバーなどで強く締めすぎると、座が変形してSW-806のガイドが嵌合できなくなります。



3. セーフティストッパーロングの取付け

- ①本体をパネルの加工部に、L型ストライクを枠に取付けます。



ご注意

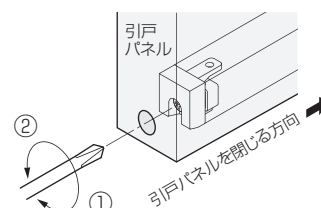
ねじを取付ける際、先端が太いドライバーを使用すると、金具を傷つけるおそれがあります。先端が細いドライバーを使用し、事前に金具を傷つけないことを確認した上で、取付けてください。4×10ねじを取付ける際、締め込みすぎると反対側の表面材がふくれるおそれがあります。

■表記訂正 (25/07/01)

■SW-807の調整

- 下部ガイドが装着されない場合
引戸パネルの木口から①の方向にドライバーで調整をしてください。

- 引戸パネルを閉めた際に収納パネルとの間に隙間が生じる場合
②の方向に調整をしてください。



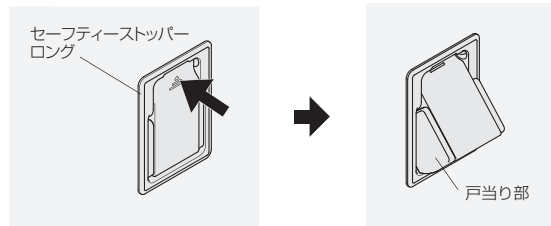
■引戸パネルの操作方法

●フロアを間仕切の場合

- ①全てのパネルを収納部から引き出し、間仕切ります。
②引戸パネルをSW-806の座の中心位置を通過するように、ゆっくり閉じます。
③引戸パネルが閉まりきって収納パネルにあたると同時に、SW-806の座にガイドが嵌合されます。

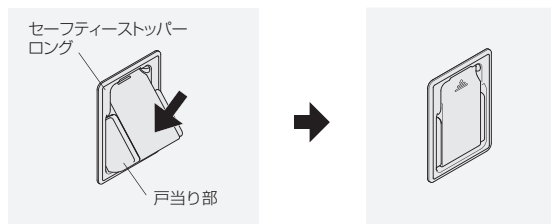


- ④セーフティストッパーロングの上部を押込み、戸当り部を突出させます。



●引戸パネルを収納する場合

- ①セーフティストッパーロングの下部を押込み、戸当り部を収納します。



- ②引戸パネルを開ききると、SW-806のガイドが座から外れて、引戸パネルを収納できます。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	